指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	施設所管課	都市計画部公園緑地課

施　設　名	大津湖岸なぎさ公園（市民プラザの一部に限る。）
指定管理者	株式会社たねや
指定期間	令和7年3月24日　～　令和12年3月31日
指定管理料	年額10，213，000円　（令和7年度）　（総額51，191，000円）
設置目的	なぎさ公園の魅力向上とさらなるにぎわい創出を図るため、「市民プラザ」において、Park-PFIを活用した再整備事業によって設置された公園施設であり、株式会社たねやが管理運営する公募対象公園施設と連携した質の高いサービスの提供を行い、市民に憩いの場を提供するとともに市民福祉の保持増進を図ることを目的としている。
業務内容	⑴　公園施設を良好な状態に維持管理すること ⑵　公園の適切な利用管理を行うこと ⑶　施設の特性を活かした活用を企画すること

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	事業計画書に基づき、公園施設の清掃や警備を適切に実施し、公園施設を良好な状態に維持管理していた。また、自主事業においても利用者ニーズに合わせた事業を展開し、利用者の満足度向上に努めていた。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	施設の設置目的や「大津湖岸なぎさ公園（市民プラザ）再整備事業公募設置等指針」を踏まえ、円滑な運営に努めていた。	B（良好）	施設の設置目的に沿った管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	事業計画書に基づき、必要な資格や経験年数を踏まえた人員を店舗（工房、カフェ含む）、琵琶湖の森に配置していた。	B（良好）	事業計画書に基づいた人員配置であった。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	安全衛生委員会を毎月開催した。 安全パトロールを毎月実施した（第一水曜日）。	B（良好）	事業計画書に基づき適切に実施していた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	法令に基づき、適切な管理運営を行った。	B（良好）	関係法令等を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	個人情報保護方針やプライバシーポリシーに基づき、個人情報について適切に管理していた。	B（良好）	個人情報の管理体制及び実施体制を定めるとともに、適切に管理を行っていた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	業務日誌、健康チェック、公園利用者からの要望内容、事故記録などを適切に整備、保管していた。	B（良好）	業務日誌やその他管理業務に必要な書類を整備し、適切に記録・保管していた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	大津市との相談や事故発生時等の報告を十分行った。	B（良好）	日々の情報共有に加え、市と指定管理者間で情報共有・協議を随時行った。また、各種報告書等の提出についても適切に行っていた。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急時の連絡体制を確立するとともに、事故や災害時の対応方針を定め、周知を図っていた。	B（良好）	事故・災害発生時のフローも整えており、団体内での情報共有を行うなど、適切に対応していた。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B（良好）	事故防止、安全確保のため、スタッフ・警備員による巡回や点検を日常的に行うなど必要な対策を講じていた。 開館日、開館時間とも遵守していた。	B（良好）	開館日、開館時間を遵守していた。また、職員及び警備員による巡回や点検等を日常的に実施し、事故防止及び利用者の安全確保に努めていた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書				
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	常駐するスタッフによる利用者への応対を適切に行うなど、お客様からご満足いただける対応を行っていた。（アンケートから）	B（良好）	指定管理者内の接遇マニュアルに則り、服装、言葉遣い、接客態度等の指導が徹底されており、適切に利用者対応がなされていた。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	事業計画に基づき実施していた。また、利用促進に向け、積極的に情報発信を行っていた。	B（良好）	事業計画に基づき、事業運営を行っていた。利用促進に向け、SNSや外部メディアなど様々な媒体を活用し、情報発信に取り組んでいた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	・8月のワークショップ（切り絵体験）のみ計画と異なった。 ・利用者の満足度を高めるため、『LAGO散策』では「初参加者」と「複数回参加者」に分け、それぞれお話しする内容（基本Ver、時期を得たVer）を別にした。 ・今森先生監修のもと『里山』という目的に沿った自主事業を実施した。	B（良好）	天候不良やその他要因による事業の変更や延期等はあったが、各事業において一定数以上の参加者を確保していたことは一定評価できる。また、利用者ニーズに合わせた事業を展開し、利用者の満足度向上に努めていた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	計画書や仕様書に基づき、日常の清掃や警備等の維持管理を行っていた。草花や樹木が順調に成長し、水やりや草刈りを定期的に実施していた。植栽や草刈りは美観を保つことに加えて生き物が集まってくるように工夫して行っていた。	B（良好）	事業計画書及び仕様書に基づき、清掃及び警備等の管理業務を適切に実施していた。また、施設や植栽の育成状況に応じて、草刈りの回数を増やすなど、美観維持に努めていた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	ホームページによる情報提供のほか、テレビなどメディアを通じて情報発信していた。	B（良好）	HPを適宜更新するなど、適切に情報発信を行っていた。また、テレビや新聞等のメディアを通じて、より多くの方への情報発信に取り組んでいた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	コンポストによる資源化を実施し、リサイクル等の推進に努めていた。	B（良好）	コンポストによる資源化を実施し、リサイクル等の推進に努めた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	車いすのお客様にお声がけし、お会計の際、列に並ばずにすむように配慮していta。	B（良好）	職員への指導及び情報共有を適切に実施し、障がい者等への合理的配慮の推進に努めていた。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	苦情等を受け付けたら「お声シート」を迅速に作成し、共有していた。	B（良好）	苦情等を受けた場合の情報共有の仕組みを確立し、職員間で適切かつ迅速に対応できる体制を整えていた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。 □ 利用者の満足度を高める工夫を行っているか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	店内にアンケートQRを掲示し、管理運営に反映する体制を構築していた。	B（良好）	店内等にアンケート用の二次元コードを掲示し、アンケート結果を管理運営に反映する体制を整えていた。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価　【標準11項目／当施設10項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

Ⅲ収支等	**経理事務** ☐ つり銭等現金の管理は適切か。 ☐ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っているか。 ☐ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行しているか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	**B（良好）**	適切な経理事務を行っていた。	**B（良好）**	適切に経理事務を行っていた。
	収支状況 ☐ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 ☐ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	**C（課題含）**	年間収支は-99,968円となった。 【年間収入】454,300円 【年間支出】554,268円 マイナスとなった原因は、下表赤字ご参照ください。	**B（良好）**	自主事業において事業内容変更や天候不良による延期等の影響はあったが、自主事業の総収入額の年計画比は72.7%、総支出額の年計画比は88.3%と、概ね事業計画どおりに推移していた。
	経費節減の取組 ☐ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 ☐ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	**B（良好）**	警備など第三者への委託は適切な水準で実施するなど、経費削減に努めていた。	**B（良好）**	職員の配置や業務の分担等、商業施設と連携することによって、経費削減に取り組んでいた。また、施設警備等の第三者への委託は適切に実施していた。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	
Ⅳその他の取組等（独自）	**その他** ☐ 里山環境の再生と生物多様性の向上に向けた取り組みを行ったか。 ☐ 地域コミュニティの活性化に向け、地域との連携や持続可能な運営に努めたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	**B（良好）**	里山環境の再生に向け、植栽や水景施設等を適切に管理している。	**B（良好）**	事業計画に基づき、植栽や水景施設を適切に管理運営していた。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価【当施設1項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

主な成果（全体）

使用料（利用料）	目標	円	⇒	実績	円
稼働率	目標	%	⇒	実績	%
利用者数	目標	人	⇒	実績	人

【指定管理者コメント】

・公園施設を良好な状態に維持管理することができました
・公園の適切な利用管理を実施することができました
・施設の特性を活かした活用を企画し、実施することができました

【施設所管課コメント】

事業計画書に基づき、公園施設の清掃や警備を適切に実施し、公園施設を良好な状態に維持管理したことは一定評価できる。また、自主事業においても利用者ニーズに合わせた事業を展開し、利用者の満足度向上に努めていた。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
植樹体験ツアー（4/4）	指定自主事業	苗木10本、参加者10人	実施	
今森先生ワークショップ（4/21）	指定自主事業	苗木95本、参加者14人	実施	①年間のイベント保険を当月に一括計上したため、②定員15名に対して樹木・苗木が約100本と若干多かったため、これら2つの理由によりマイナス収支となった
今森先生ワークショップ（6/21）	指定自主事業	草刈り体験、参加者17人	実施	
今森先生ワークショップ（8/9）	指定自主事業	切り絵体験、参加者30人	未実施	PFI事業として実施
琵琶湖彩販売（10/25～11/22）	指定自主事業	ガラス鉢、信楽焼販売（大9個、中10個、小3個、信楽6個）	実施	各週土曜日に実施
今森先生ワークショップ（11/2）	指定自主事業	苗木463本、参加者19人	実施	雨天延期により、参加者が半減したことで収入減、苗木は予定通り準備をしていたためマイナス収支となった
今森先生ワークショップ（12/13）	指定自主事業	すいせん球根27個、参加者18人	実施	やまおやじの枝打ち、すいせん植え
信楽焼鉢　店頭販売	指定自主事業	信楽焼鉢　3個販売	実施	店頭にて常設販売（販売期間：1/30～2/12、2週間）

【指定管理者コメント】

・賑わいの創出が達成できた（令和7年度の来店数：862,517人、１日当たり平均2,363人）

【施設所管課コメント】

商業施設と連携した取り組みの実施や施設の美観維持により、多くの方が来場されたことは一定評価できる。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

・天候等の計画段階では予測不可の要因への対策を次期以降に検討します。
・利用促進に向け、サンシャインビーチ駐車場の活用などの指定管理者間の連携を図ります。

【施設所管課コメント】

一部の自主事業において、天候等の影響により延期になることもあったが、事前の情報発信等の取り組みにより、延期した日においても一定数の参加者を確保していた。次期以降については、天候等の影響を考慮した対策や事業実施方法を検討されたい。また、サンシャインビーチ駐車場を含め、隣接する他の公園を活用する等、指定管理者間で連携を図り、相互に利用促進の効果を得られるよう取り組まれたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順：

